



第24回

日本精神科看護専門学術集会 in 石川

2017.12.2 sat ▶ 12.3 sun

石川県立音楽堂／ホテル金沢

前夜
12/1(金)
18:00-19:00
プレコンgres開催
「ストレングスマッピング
シートを使って対話しよう」
萱間真美
(聖路加国際大学看護学部)

学術講演

高度化する精神科医療で看護に期待する役割

山之内 芳雄 (国立研究開発法人 国立精神・神経医療研究センター 精神保健研究所 所長補佐 精神保健計画研究部 部長)

パネルディスカッション

- ① 児童・思春期精神看護の主体性を探る
～魅力のある人材を育成するための条件～
コーディネーター／草地仁史 (日本精神科看護協会)
- ② “重度かつ慢性”に看護はどう立ち向かうか
コーディネーター／吉浜文洋 (佛教大学保健医療技術学部看護学科)
- ③ 地域包括ケア時代へ向けて看護者が力を発揮する!
～多職種協働・連携アプローチの展開を通じて～
コーディネーター／吉川隆博 (東海大学健康科学部看護学科)

テーマセッション

- ① 最新治療
- ② 看護相談 (面接) / 看護カウンセリング
- ③ ピアサポーター
- ④ 外来看護

特別セミナー (クロストークセッション)

身体拘束—「削減」から「激減」への挑戦

講師／小藤幹恵 (金沢大学附属病院 副院長 / 看護部長)、病棟スタッフ
講師／三宅美智 (国立精神・神経医療研究センター 精神保健研究所 精神保健計画研究部 / 流動研究員)
座長／末安民生 (岩手医科大学看護学部地域包括ケア講座)

そのほか、精神科認定看護師実践報告、160題を超える一般演題A (看護研究発表、実践報告、業務改善報告) や多彩なラインナップの一般演題B (ワークショップ・交流セミナー) も数多く行われます。

会場：石川県立音楽堂 (石川県金沢市昭和町20-1) / ホテル金沢 (石川県金沢市堀川新町1-1)
お申し込み先：東武トップツアーズ (株) 金沢支店 TEL 076-233-0109 FAX 076-222-0147 (担当：今泉)
お問い合わせ先：一般社団法人日本精神科看護協会 TEL 03-5796-7033 www.jpna.jp
主催：一般社団法人日本精神科看護協会、一般社団法人日本精神科看護協会石川県支部
後援：石川県、金沢市、公益社団法人石川県看護協会、公益社団法人日本精神科病院協会石川県支部、石川県精神保健福祉社会
公益社団法人石川県作業療法士会、石川県臨床心理士会、テレビ金沢、北國新聞社 (予定)
詳細は日本精神科看護学術集会専用ホームページをご覧ください ▶ <http://jpna-gakujutsu.jp>



第24回 日本精神科看護専門学術集会 in 石川

12/1 (金) 18:00-19:00 プレコンgres
「ストレングスマッピングシートを使って
対話しよう」 萱間真美 (聖路加国際大学看護学部)
会場: 石川県立音楽堂

プログラム

12/2 (土)	9:15 受付	9:50 開会式	10:00~12:00 学術講演 「高度化する精神科医療で看護に期待する役割」	12:00~13:00 昼食 ランチョンセミナー	13:00~17:30 パネルディスカッション 一般演題A・B 精神科認定看護師実践報告
	12/3 (日)	9:15 受付	9:30~12:00 特別セミナー (クロストークセッション) テーマセッション 一般演題A・B	12:00~13:00 昼食 ランチョンセミナー	13:00~15:30 パネルディスカッション 一般演題A・B

※プログラムや時間等は一部変更することがあります

学術講演

高度化する精神科医療で 看護に期待する役割



講師 / 山之内 芳雄

国立研究開発法人 国立精神・神経医療研究センター
精神保健研究所 所長補佐 精神保健計画研究部 部長

精神科において、治療抵抗性統合失調症治療薬、修正型電気痙攣療法、持効性抗精神病薬注射などの新規の治療が広がりを見せている。厚生労働省は地域医療計画においても、医療高度化の推進を掲げており、一部の医療機関だけの話ではなくなるだろう。これらのみならず、今後の精神科医療に登場するであろう治療法などの考え方と看護における役割について紹介したい。

パネルディスカッション

① 児童・思春期精神看護の主体性を探る ～魅力のある人材を育成するための条件～

コーディネーター / 草地仁史 (日本精神科看護協会)

児童・思春期精神看護を担う看護者は、対象者の成長発達を意識したケアや家族への対応などさまざまな役割が求められるが、その期待に応えようとして、自分の置かれている状況に困難を感じることも少なくない。今回のパネルディスカッションでは、困難を克服して看護者が成長していくプロセスを皆様とともに可視化していきたい。

② “重度かつ慢性”に看護はどう立ち向かうか

コーディネーター / 吉浜文洋 (佛光大学保健医療技術学部看護学科)

症状評価、行動障害の頻度、生活障害の程度、そして身体疾患。“重度かつ慢性”の病態をこの3つの軸で評価する案が示されている。隔離・身体拘束の対象となることも多く、看護者を無力感、疲弊感に陥らせることにもなるのが“重度かつ慢性”状態の患者である。これらの患者に、看護はどう対応していくのか。方向性を探りたい。

③ 地域包括ケア時代へ向けて看護者が力を発揮する!

～多職種協働・連携アプローチの展開を通じて～

コーディネーター / 吉川隆博 (東海大学健康科学部看護学科)

精神科領域においても、地域包括ケアシステムの構築をめざすことになった。看護者が病院と地域をつなぎ、地域での継続ケアを実践する。そのための具体的なアプローチについて考える必要がある。今回は地域包括ケア実践を検討するうえで参考となる多職種の先駆的実践や、多職種協働・連携モデルの好事例などを通じて、地域包括ケア時代に挑むアプローチ法と、看護者に期待される役割・機能について考えたい。

特別セミナー (クロストークセッション)

身体拘束—「削減」から「激減」への挑戦

座長 / 末安民生 (岩手医科大学看護学部地域包括ケア講座)

●セッション1「高度急性期病院での抑制しない看護のチャレンジ」

講師 / 小藤幹恵 (金沢大学附属病院 副病院長 / 看護部長)、病棟スタッフ

●セッション2「行動制限最小化委員会への当事者の参加」

講師 / 三宅美智 (国立精神・神経医療研究センター 精神保健研究所 精神保健計画研究部 / 流動研究員)

精神病床のみならず一般診療科の病床においても身体拘束は長期にわたり増加し、臨床の現場では日々、隔離・拘束を減らすための努力が続けられている。このような状況の中、大学病院において看護者の力でこの改善に取り組んでいるのが金沢大学附属病院である。一方、精神科においては「行動制限最小化委員会への当事者の参加」についての研究が進められている。この2つの報告をクロストークすることで、日頃の看護からは見えてこない、新たな取り組みの方向性を探りたい。

12/1 (金) 18:00-19:00 プレコンgres

「ストレングスマッピングシートを使って対話しよう」

萱間真美
(聖路加国際大学看護学部 教授)

精神障害をもつ人と長くかかわっていくためには、問題解決モデルからストレングスマッピングシートへの転換が必要になります。その人らしいカバリーをめざして、並走する関係性をつくるために、ストレングスマッピングシートを用いた当事者との対話についてお話したいと思います。



×× 参加費 (プレコンgres参加費含む) ××

会員 事前申込: 12,960円 (税込) / 当日申込: 15,120円 (税込)
非会員 事前申込: 23,760円 (税込) / 当日申込: 25,920円 (税込)
※プレコンgresのみ参加 事前申込・当日申込ともに: 会員 1,080円 (税込) 非会員 2,160円 (税込)

×× お申し込み方法 ××

① インターネットの場合
学術集会専用ホームページの「第24回日本精神科看護専門学術集会 (石川県) Web申込」からお申し込みいただけます。http://jpna-gakujutsu.jp

② FAXの場合
パンフレット「第24回日本精神科看護専門学術集会 (石川県) ご案内」の参加申込書に必要事項を記入し、下記のお申し込み先へ送信してください。参加申込書は、学術集会専用ホームページからダウンロードできます。

×× お申し込み先 ××

東武トップツアーズ金沢支店「第24回日本精神科看護専門学術集会 (石川県)」係
TEL: 076-233-0109 FAX: 076-222-0147 担当: 今泉

※お電話でのお申し込みは受け付けておりませんので、ご了承ください
※会員とは、一般社団法人日本精神科看護協会の会員をさします

×× 会場までのアクセス ××



事前申込受付期間: 2017年8月1日 (火) ~ 11月2日 (木) ※左記期間後は当日申込の参加費となります